

各 位


日医工株式会社

会社名 (証券コード 4541 東証第一部)

代表者名 代表取締役社長 田村 友一

お問合せ先

常務執行役員管理本部長兼財務部長 稲坂 登

TEL 076-432-2121

2012年3月期 決算概要について

1. 2012年3月期の連結業績 (2011年12月1日～2012年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2012年3月期	26,998	2,139	2,300	1,330	32円92銭
2011年11月期	77,740	7,492	7,309	3,908	101円54銭

(注) 2012年3月期は決算期変更の経過期間であることから、対前期増減率は記載していません。また、2012年3月期の1株当たり当期純利益については、4ヶ月間の利益に対する数値を記載しております。

医薬品業界におきましては、2012年4月実施の薬価改正および診療報酬改定が、同年3月に告示されております。

薬価改正で当社は、前回2010年と同様、薬価加重平均9.3%の引下げの影響がありますが、一方で、後発医薬品の使用促進のため、①後発医薬品調剤体制加算における加算基準と点数の引き上げ、②薬剤服用歴管理指導料に後発医薬品に関する情報提供を含めての加算、③処方せん料で後発品のある医薬品について一般名で記載された場合に加算、などの施策が実施されました。

これらの施策は、ジェネリック医薬品のシェア目標の達成に向けて、長期間にわたって着々と浸透していく、より現実的なものであろうかと考えております。

また当社は、2012年3月に第6次中期経営計画「Pyramid」(2012年4月から2016年3月までの4事業年度を対象)を発表しました。この新中期経営計画では、ブランド戦略、ユーザー戦略、差別化戦略、コスト戦略の4つの戦略を展開し、企業基盤を固めながら、ジェネリックメーカー世界TOP10に入るというビジョンの達成を目指します。

さらに、同年3月には殺菌消毒剤等の局方医薬品を中心としたヤクハン製薬株式会社を子会社化しており、全国の病院を中心に同社製品の販売展開によって、新たなシナジー効果の創出を図って参ります。

なお、当連結会計年度から、決算期を3月に変更しておりますため、当連結会計年度は2011年12月から2012年3月まで4ヶ月の変則決算となりました。当連結会計年度では、薬価改正に伴う販売価格の変更による流通在庫の価格調整等の影響を折り込んでおります。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高が269億98百万円(前連結会計年度は777億40百万円)、営業利益が21億39百万円(前連結会計年度は74億92百万円)、経常利益が23億円(前連結会計年度は73億9百万円)、当期純利益は13億30百万円(前連結会計年度は39億8百万円)となりました。

売上高を品目別に見ますと、経口プロスタグランジンE1誘導体制剤「オパプロスモン錠5μg」、高脂血症治療剤「メバン錠5・10」、血行促進・皮膚保湿剤「ビーツフテンローション0.3%、クリーム0.3%」、持続性Ca拮抗薬「アムロジピン錠2.5mg・5mg、OD錠2.5mg・5mg」、脳保護剤「エダラボン点滴静注液30mg、バッグ30mg」、アルツハイマー型認知症治療剤「ドネペジル塩酸塩錠3mg・5mg、OD錠3mg・5mg」、骨粗鬆症治療剤「アレンドロン酸錠5mg・35mg」などが堅調な売上を示しました。

2. 2013年3月期の連結業績予想について（2012年4月1日～2013年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
第2四半期（累計）	44,800	3,500	3,400	2,100	51円96銭
通期	92,500	8,300	8,000	4,800	118円77銭

（注）2012年3月期が決算期変更の経過期間であることから、第2四半期（累計）及び通期の対前期増減率は記載しておりません。

（次期の見通し）

バイオ後続品であるインフリキシマブ（標準品名：レミケード）後続品の開発は、サノフィ・アベンティス株式会社と共同して開発を進めることとしており、早期の上市を目指して取組んで参ります。

2012年4月から実施される新たな診療報酬制度の中で、今後は改めて後発品の使用促進に弾みがついていくものと思われませんが、当社としましては安定的な供給体制の維持に向け、既に2010年に竣工した滑川工場の「Pentagon棟」に隣接させて、新たな製造棟「Pyramid棟」を2012年4月に着工し、2013年2月竣工予定で建設しております。また現在、愛知工場に建設中の凍結乾燥注射剤の製造ラインは、2013年1月の完成を予定しております。これらの新しい製造設備は、当社グループに加わったヤクハン製薬株式会社と共に、当社グループの安定供給の基盤をより強固にするものと考えております。

また、2012年6月には、当社の100%子会社である日医工ファーマ株式会社を吸収合併し、生産のほか業務全般の効率化を図り、コスト競争力の強化を目指して参ります。

なお、第2四半期累計期間の業績予想につきましては、直近の動向を踏まえ、2012年1月12日に公表しました業績見通しの内容から変更しております。

3. 配当金について

当期は、決算期を3月に変更したことにより、2011年12月1日から2012年3月31日まで4ヶ月間の変則決算となりました。当期末の配当につきましては、前期末配当の16.00円を基本に、期間4ヶ月に相当する額として、1株当たり10.70円とする予定です。

次期の配当につきましては、第2四半期末で1株当たり16.00円、期末で1株当たり16.00円（年間1株当たり32.00円）を予定しております。

4. 企業集団の状況について

連結子会社は、日医工ファーマ株式会社、ヤクハン製薬株式会社他1社の合計3社です。

5. 社会貢献について

第6次中期経営計画「Pyramid」の期間におきまして、日医工グループの事業で得られた成果を次のとおり社会に貢献していく方針です。

各年度対前年比増益達成を前提として、当期純利益の0.5%を東日本大震災で被災された東北の子供達の支援を中心に寄付を行う予定です。

以上